

令和7年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間: 令和7年4月1日～令和8年3月31日

施設名	大和市郷土民家園
指定管理者	公益財団法人スポーツ・よか・みどり財団
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日

I. 事業報告概要

①管理体制と施設の利用状況

【管理体制及び開園状況】

管理運営体制	原則2名(うち、学芸員有資格者1名)
開園状況	毎週月曜日(休日の場合翌日)及び年末年始(12/29～1/3)を除く毎日
開園時間	午前9時～午後4時(7/21～8/31は午後5時まで)

◎職員に対する研修の実施

接遇研修や、コンプライアンス研修など、職員に対し管理運営に必要な研修を実施しました。

【施設の利用状況】()内は令和6年度の数

年間利用者数	29,483人(30,903人)カウンター集計による 前年度比1,420人減
団体利用受付	小中学校……市内6(9)校、市外16(17)校、計22(26)校 その他団体……市内1(0)団体、市外2(4)団体、計3(4)団体

◎来園者数の推移

前年度実績に比して減少となりました。7年度は、小学校の団体見学回数が減ったことが要因と思われます。

◎施設の利用許可状況

利用の拒否については該当ありませんでした。

◎来園者に対する歴史説明

来園者の要望に応じて、大和の歴史(古民家・農耕・養蚕)等の説明を実施しました。また、小学校やその他団体に対しても、同様に説明を実施しました。

◎施設の広報活動

ホームページをはじめ、X(旧Twitter)、ポスターや情報誌等で、施設や事業の周知を行いました。

◎施設の平等利用

小学生向けワークシートと同内容の外国語版ワークシート(英語・スペイン語)を園内に配架し、施設の平等利用を図りました。

②事業運営の実施状況

■年中行事展示

	事業名	展示期間	来園者数
1	端午の節供展示	4/12～5/11(26日)	5,006人(192.5人)
2	カイコの飼育展示	6/21～8/3(38日)	2,417人(63.6人)
3	七夕飾り展示	6/28～7/6(8日)	708人(88.5人)
4	お盆の砂盛り展示	8/7～8/15(8日)	372人(46.5人)
5	十五夜団子飾り展示	10/1～10/5(5日)	401人(80.2人)
6	十三夜団子飾り展示	10/29～11/3(6日)	660人(110人)
7	ヨーカゾーの目籠飾り展示①	11/29～12/7(8日)	777人(97.1人)
8	正月飾り展示・春の七草展示	12/20～1/7(11日)	634人(57.6人)
9	繭玉団子飾り展示	1/8～1/14(6日)	909人(151.5人)
10	ヨーカゾーの目籠飾り展示②	1/31～2/8(8日)	659人(82.3人)
11	お雛様飾り展示	2/7～3/8(26日)	4,694人(180.5人)

※開催期間のカッコ内は開催日数、来園者数のカッコ内は一開園日あたりの平均人数

■市内3館合同企画展示

	企画展名	開催期間	来園者数
1	古民家で端午の節供	4/18～5/11 (21日)	4,430人 (210.9人)
2	昭和のやまとー昔のくらしへタイムスリップ	2/7～3/15 (32日)	5,259人 (164.3人)

※開催期間のカッコ内は開催日数、来園者数のカッコ内は一開園日あたりの平均人数

■自主事業

	事業名	開催日	参加者(観覧含む)・来園者数
1	民家園まつり	5/5	観覧58人／来園1,194人
2	機織り機を作ろう	5/25	参加3人／定員10人
3	小麦脱穀実演	6/15	観覧5人／来園104人
4	カイコを知ろう	6/22	15組(42人)／定員15組
5	七夕のしらべ	① 7/5 ② 7/6	① 観覧14人／来園94人 ② 観覧19人／来園122人
6	まゆ工作	10/26	4人／定員10人
7	まゆから糸とり体験	11/3	9人／定員10人

8	粃摺り・精米実演	11/16	観覧56人
9	人形浄瑠璃の上演	11/24	観覧125人／来園383人
10	樹芸の実演	1/18	観覧8人／来園165人
11	味噌作り	2/15	10組(13人)／定員10組
12	民家園の春まつり	3/1	観覧71人／来園530人
13	いろりばたのおはなし会	(春公演)4/19 (秋公演)11/1	(春公演)観覧26人/来園318人 (秋公演)観覧20人/来園121人
14	箏のしらべとともにお話の世界へ	(秋公演)10/5 (冬公演)11/30 (春公演)3/8	(秋公演)観覧35人／来園148人 (冬公演)観覧26人／来園206人 (春公演)観覧30人／来園198人
15	機織り実演	① 4/4 ② 5/5 ③ 5/9 ④ 6/6 ⑤ 8/8 ⑥ 9/12 ⑦ 10/3 ⑧ 11/7 ⑨ 11/12 ⑩ 11/28 ⑪ 1/4 ⑫ 1/16 ⑬ 1/22 ⑭ 1/29 ⑮ 2/10 ⑯ 2/12 ⑰ 2/17 ⑱ 2/20 ⑲ 3/11	① 来園178人 ② 来園1,194人 ③ 来園124人 ④ 来園88人 ⑤ 来園30人 ⑥ 来園27人 ⑦ 来園49人 ⑧ 来園250人 ⑨ 来園88人 ⑩ 来園88人 ⑪ 来園122人 ⑫ 来園159人 ⑬ 来園63人 ⑭ 来園183人 ⑮ 来園207人 ⑯ 来園137人 ⑰ 来園145人 ⑱ 来園129人 ⑲ 来園113人

◎自主事業の実施

毎年好評をいただいている事業を継続して実施したほか、新規事業も開催しました(まゆから系とり体験・いろりばたのおはなし会)。また、ボランティアの協力を得て、機織り実演も前年の実施回数(11回)を上回る実演を実施しました。

◎市民団体との連携

年中行事や自主事業の実施にあたり、ボランティアや地域団体との連携を図りました。

◎ホームページやX(旧 Twitter)を利用した事業報告など

ホームページで実施した事業の様子を紹介したり、X(旧 Twitter)でカイコの生育状況や園内の草花の様子などをリアルタイムでお知らせすることで、また来園したい・次も参加したいと思っていただけるような工夫をしました。

◎市内3館合同企画展

市内の歴史や民俗を知っていただくことを目的として、つる舞の里歴史資料館・下鶴間ふるさと館との3館合同による企画展を年2回開催しました。特に2月に実施した「昭和のやまと一昔のくらしへタイムスリップ」は、市が9月に実施した特別展「やまと激動の昭和史」から交通・娯楽・住居の3つのキーワードに焦点をあて、民家園で北島家に当時の家電製品や民具を展示し、昭和の住居の様子を紹介しました。

◎アンケートの実施

講座などの自主事業において、可能な限り参加者からのアンケートを実施しました。精査した内容は、市への月次報告で詳細に報告しました。

③施設の維持管理状況

■園内清掃、環境整備等

園内清掃	毎日園内清掃
施設内清掃	毎日旧北島家・旧小川家両施設を清掃。 茅葺屋根等防虫のため両施設を燻蒸(開園日に一日交代で実施)。 米ぬかを使用して古民家の床掃除を実施。
巡回・警備	開園時間中、常時1名巡回警備。閉園時間中は機械警備を実施。
消防訓練	文化財防火デー(1/26)にちなみ1/23に実施。

◎植物や樹木による園内整備

除草、草刈、高木・低木剪定、生垣剪定、畑・水田管理等を実施しました。特に、アジサイ、ヤマユリ、ヒマワリ、ノギク、ナノハナ、シバザクラなど、季節の花やみどりによる園内の景観整備に努めました。また、園内のカワヅザクラにカミキリ虫が寄生し樹勢が悪化したことによって、他のカワヅザクラや樹木に影響を及ぼす可能性があったため、当該カワヅザクラ3本を伐採・伐根しました。なお、市民の方が泉の森で拾った種で育てた桜の苗木の寄贈があったため、園内の敷地内に植え付けしました。

◎ドロバチの巣の駆除

ドロバチが、旧北島家のカッテに巣を作るので、冬にハチがいなくなったことを確認し、駆除しました。

◎施設や備品の簡易修繕

管理施設や市からの借用備品（民具等）で修繕が必要な物品を確認した場合は、職員によって簡易修繕を実施しました。

例：裏木戸の門（かんぬき）の修理、障子補修、五月人形の補修、旧北島家屋根のキノコ殺菌のための竹酢液原液の散布など

◎オリジナル商品の民具作製

竹とんぼ・竹笛・ブンブンごま等を作製・販売しました。

◎古民家の燻蒸

茅葺屋根等の防虫のため、旧北島家・旧小川家の両施設の燻蒸を一日交代で実施しましたが、7年度からはより効果が得られるよう、週1回両家の戸を閉め切って集中的に燻蒸を行いました。

◎第三者委託による施設点検等

必要な整備・点検を漏れなく実施しました。

- ・夜間及び休園日における機械警備の実施

- ・消防設備点検の実施

放水銃、自動火災報知機、消火器の機器点検1回ずつ、総合点検1回ずつ

- ・一般用電気工作物保守点検（精密点検1回、目視点検4回）の実施

- ・浄化槽維持管理（保守点検4回・完全清掃1回・害虫駆除2回及び法定点検1回）の実施

- ・空調設備保守点検（1回）の実施

2. 収支決算概要

(単位:円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	9,999,000	人件費 (給料手当、臨時雇賃金、福利厚生費)	7,805,508
その他収入 (教室参加料・民家園販売売上等)	175,375	事業費 (会議費、消耗品費、保険料、諸謝金、負担金、租税公課、委託費)	91,783
		光熱水料費 (電気料、水道料)	389,318
		施設管理費 (通信運搬費、消耗品費、修繕費、燃料費、賃借料、保険料、租税公課、負担金、委託費)	2,131,154
収入計(①)	10,174,375	支出計(②)	10,417,763

収支決算(①-②)	▲243,388
-----------	----------

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。評価にあたっては、令和8年8月7日に文化財保護審議会から意見聴取を行いました。

評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか	
評価	施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られている。
●施設の利用許可事務については、条例などに則り適切に行われていることが確認できました。 ●団体の施設利用については、可能な限り要望を受け入れ、当日の誘導や説明対応にも積極的に応じました。 ●小学生向けのほか、英語・スペイン語の外国語版ワークシートを作成し常時配架するなど、施設の平等利用を図っていることは評価できます。また、新たに中国語のシートを8年度中に配架できるよう準備している点も評価できます。 ●古民家内の間取りの説明板も、多言語での解説を検討してほしい。 ●ホームページでは、開催後の事業の様子やその内容を公開し、またX(旧 Twitter)では園内の草花の開花状況やカイコの生育状況をリアルタイムで発信するなど、外部広報媒体を積極的に活用した広報活動を行い、来園者増加への対策をとっていることは評価できます。	
評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか	
評価	施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われている。
●市の仕様にに基づき、年中行事の再現やその展示を実施しました。 ●自主事業として、養蚕関係講座、味噌作り体験、春秋のまつりなどの人気定例事業のほか、古民家の来歴・特色・雰囲気を活かした朗読・演奏公演、小麦脱穀実演などの事業も積極的に実施していました。 ●7年度は、地域のボランティア団体と連携し、新規の自主事業「いろりばたのおはなし会」を開催、また、6年度に共催で行った事業をブラッシュアップして新たに「まゆから糸とり体験」を実施するなど、新しい事業にも積極的に挑戦している点が評価できます。 ●養蚕に関する事業や機織り実演など、古民家の特性を生かした自主事業を市民団体やボランティアと連携し企画実施することで、施設と地域をつなぎ、活用してもらう工夫をしている点が評価できます。 ●市と連携して、つる舞の里歴史資料館・下鶴間ふるさと館との3館合同企画展も実施し、市内の文化財普及啓発活動にも取り組みました。特に7年度は、年中行事の展示と並行して昭和の暮らしというテーマで、施設の特性を生かした展示も同時に行いました。 ●実施した事業のアンケート結果を毎回詳細に分析し、事業内容の見直しや広報の方法などに生かしている点が評価できます。 ●近年の猛暑により、特に夏季期間は来園者数も減少傾向ですが、気候が良い時期に多くの市民に来ていただけるよう、今後も市と現状を共有し、施設の活用方法を模索し新しいアイデアを取り入れながら、効果的な運営を継続することを期待します。 ●市外の小学校の団体利用がありますが、市内の小学校にも多く来園してもらい、学習にも活用していただけるよう、学校向けのプランニングにも期待します。 ●学校の先生にも市内の文化財や古民家の見識をもっていただき、学習に活用していただけるよう、教職員向けの研修会開催や資料の配布等を提案します。	

評価の視点3: 施設の適切な維持及び管理が図られたか

評価 施設の適切な維持及び管理が図られている。

- 各種点検、報告等は仕様書・協定書等に沿って漏れなく実施されています。
- 園内の巡視や適正な点検を実施したことにより、重大な事件・事故なく事業運営ができました。
- 古民家だけでなく、園内全体に四季を感じられるよう、季節ごとに草花の植え替えを行い、魅せる施設作りを積極的に行いました。
- 毎日の施設清掃や見廻りをしっかりと行っているため、建物や備品・物品の異常をすぐに発見することができ、軽易なものについては補修を行い、修繕が必要である場合はすみやかに市へ報告するなど、適切に行われました。
- 米ぬかを使用した床清掃など、維持管理を上手に動態展示として来園者に発信しました。
- 長年の施設管理により、古民家の茅葺屋根の様子や虫の発生等にもすぐに対応し、より一層の火入れによる燻蒸が必要であるとして、適切な燻蒸作業を実施している点が評価できます。

評価の視点4: 施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか

評価 施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有している。

- 施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況を保っています。
- 事業計画書のとおり適正に人員が配置されており、関係法令に基づく管理体制を遵守し、施設の管理を安定して行う人員・能力等を有しているといえます。
- 学芸員の有資格者を計画的に配置し、自主事業及び年中行事展示等を適切に行う体制を整えています。
- 地域住民をボランティアとして活用し、地域団体との連携事業にも積極的に取り組んでおり、地域に根付いた事業を展開しています。
- 限られた予算と人員の中で、既存の事業だけでなく、新規事業の開拓にも取り組んでおりよく頑張っています。若い世代の力を積極的に取り入れて、未来へ繋げていけるような事業の発展を期待しています。